

平成28年 9月28日

宗像市議会  
議長 吉田 益美 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 北崎 正則

### 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を宗像市議会会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

第81号議案から第88号議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、平成27年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

#### 第81号議案 平成27年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1,001万7,399円（前年度比23.0%減）  
歳出決算額 676万7,617円（前年度比33.9%減）  
歳入歳出差引額 324万9,782円
- 2 27年度末の滞納額は約9,000万円である。滞納者本人や保証人も含めて支払いが困難なケースが多く、仮に訴訟を起し勝訴しても回収は見込めない状態にある。
- 3 現在、国の償還推進助成金制度の活用を弁護士と検討中である。今後も今まで以上に納付指導を行い、33年度の期限内にできるだけ回収できる

よう、国の動向も踏まえて取り組んでいく予定である。

##### 【意見】

（賛成意見）

- ・市が努力をしてもなかなか成果が出にくい状況である。国、県の同和対策事業が既になくなっているため、現実的にどうするのかを真剣に考える時期に来ていると考える。

##### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

#### 第82号議案 平成27年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

##### 【事業勘定】

- 1 歳入決算額 122億 233万6,388円  
（前年度比16.4%増）  
歳出決算額 118億2,975万 884円  
（前年度比15.7%増）  
歳入歳出差引額 3億7,258万5,504円
- 2 単年度収支は、約1億1,000万円であり、昨年度に引き続き黒字決算となった。これは当初予算編成時に歳入として見込むことができない、特別調整交付金の収入があったこと、国の財政支援の拡充や算定方法の変更に伴う、保険基盤安定交付金と保険財政共同安定化事業交付金の大幅な増額があったことによる、歳入の増が主な要因である。
- 3 被保険者1人当たりの年間医療費は37万9,042円で、前年度比5.2%の増となり、過去5年間で最大の伸び率となった。これは、主にC型肝炎の新薬等の保険適用化によるものと考えられる。

4 保険税の現年度分の収納率は96.7%で、前年度より0.68ポイント上昇した。これは、収納課との連携に加え、25年10月から開始した市役所窓口での口座振替受付サービスの推進と、27年度から開始したはがきでの口座振替申し込み受付サービスが寄与していると考えられる。

5 医療費適正化対策として、レセプト点検、柔道整復師施術療養費支給申請書の点検調査、柔道整復師施術受診者への照会文書の送付、医療費通知の送付、ジェネリック医薬品の使用促進、特定健診や特定保健指導などに積極的に取り組んでいる。また27年度は、データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症重症化予防事業に着手し、重症化前の患者に食事や運動の生活習慣指導を実施した。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,655万3,689円（前年度比35.2%減）  
歳出決算額 7,547万8,972円（前年度比35.7%減）  
歳入歳出差引額 107万4,717円
- 2 前年度より決算額が減少した主な要因は、26年度は医療用機械器具の購入があったが、27年度はこれらの購入がなかったためである。
- 3 島内に整骨院、はりきゅう院が開設された影響による低周波治療の受診者数の減少により、受診者数、診療収入とも減少した。

#### 【意見】

（賛成意見）

・国民健康保険制度は、医療費等の歳出が年々増加する性質を持った制度でもあり、大変な状況の中で職員が努力していることを評価する。今後も保険税の負担を抑制するよう一丸となって取り組んでいただきたい。

（反対意見）

・職員の様々な努力は今回の質疑の中でもよくわかったが、国からの交付金の収入により黒字決算となっており、当初予算編成時にその点を配慮していれば27年度に保険税の値上げが必要だったのかどうか疑問である。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

### 第83号議案 平成27年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 14億6,246万9,504円（前年度比2.4%増）  
歳出決算額 14億1,875万3,468円（前年度比2.6%増）  
歳入歳出差引額 4,371万6,036円
- 2 被保険者数は、前年度比で75歳以上が456人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満が11人減少したため、全体では445人、3.7%の増となった。
- 3 27年度の収納率は99.56%で、前年度より0.08ポイント上昇した。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

### 第84号議案 平成27年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔保険事業勘定〕

- 1 歳入決算額 70億4,053万9,093円（前年度比5.3%増）  
歳出決算額 68億7,053万5,710円（前年度比3.3%増）  
歳入歳出差引額 1億7,000万3,383円
- 2 要介護、要支援認定者数の増減率は前年度比2.7%の増で、過去3年間に比べ増加率が鈍化している。これは要支援の認定者数が減少に転じたことによるもので、その要因として24年度から開始した基本チェックリストの配布により、増加していた要支援の認定者数が一定のところで落ち

着いたためと考えられる。

- 3 介護給付費の総額は約6億4,153万円で、前年度比で約1億5,028万円、2.4%の増となっている。これは21年度以降最も低い増加率であり、要因として認定者数の伸び率の鈍化、介護報酬のマイナス改定、一定所得以上の被保険者の自己負担割合の変更等が考えられる。
- 4 地域支援事業の利用者負担額を含んだ事業費総額は、約2億2,057万円で、前年度比約5,638万円、34.3%の増である。また、利用者負担額を除いた事業決算額は約2億1,060万円で、前年度比37.6%の増である。地域支援事業は、28年3月から介護予防事業の一部が新しい総合事業に移行しており、事業費増の主な要因は地域包括支援センターの充実強化のための職員増員に伴う人件費の増である。
- 5 27年度は、29年度までの第6期介護保険事業の1年目であるが、財政状況については、第5期の1年目である24年度に比べ計画値に対する実績値の比率がやや低くなっている。

#### 【介護サービス事業勘定】

- 1 歳入決算額 4,981万2,224円（前年度比 0.4%増）  
歳出決算額 4,627万 639円（前年度比 1.5%増）  
歳入歳出差引額 354万1,585円
- 2 歳入の主なものは介護予防サービス計画費収入で、歳出は、介護予防サービス計画作成にあたる非常勤任用職員の報酬、共済費や計画作成委託料、事業所から地域包括支援センターに出向している職員の給与負担金などである。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

### 第85号議案 平成27年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,703万1,957円  
(前年度比 2.6%増)
- 2 介護認定審査会は福津市と共同設置し、27年度は16合議体で延べ271回開催。審査件数は、宗像市と福津市の合計で6,950件、構成比率は宗像市62.8%、福津市37.2%。この割合を基礎に、福津市の負担金と本市の繰入金を算出している。主な歳出は、認定審査会の委員報酬及び関係職員人件費である。
- 3 要支援者数の減少に関連し、宗像市の審査件数がここ数年で初めて前年度比減となった。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

### 第86号議案 平成27年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4億3,103万7,270円  
(前年度比12.5%減)
- 2 27年度は、地島航路、大島航路合わせて4,783便を運航し、乗客数は地島航路7万4,543人、大島航路21万4,175人、合計28万8,718人で、前年度に比べ2万9,447人、11.4%増加している。大島航路においては、世界遺産登録候補決定後の8月から乗客者数、車両運搬台数が増加傾向にある。また、公共工事の影響により、定期利用者数や車両運搬台数も増加している。

- 3 運輸局の指導により、これまで貨物として取り扱っていた品物については、個数に応じた取り扱いに変更となっているため、内訳の額に増減が出ているが、貨物、手荷物、小荷物の合計額は増加となった。
- 4 旅客船「しおかぜ」主機の開放検査等修繕費の増により、国、県からの補助金が増額となった。
- 5 事業費のうち、運航費は前年度比約5,240万円の減となっており、主な要因は船舶の修繕料の減と、燃料単価の低下に伴う船舶燃料費の減である。
- 6 安全運航のため、海上訓練の実施や研修会への参加をしており、毎日の始業前には船はもとより、陸上施設の点検も行っている。また、27年9月の総合防災訓練において、関連機関と連携し、フェリー「おおしま」を使用した島民避難訓練を実施した。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第 87 号議案 平成 27 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1億4,529万2,741円（前年度比17.6%増）  
歳出決算額 1億4,513万9,872円（前年度比17.6%増）  
歳入歳出差引額 15万2,869円
- 2 下水道使用料収入は約3,740万円で、収納率は95.0%、前年度比1.8ポイント上昇した。
- 3 過年度使用料清算金の約393万円は、錯誤で収入していた上八地区の一部の下水道使用料を下水道事業会計へ払い出したものである。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第 88 号議案 平成 27 年度宗像市下水道事業会計決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）  
収入決算額 29億7,675万6,708円  
支出決算額 25億1,381万6,640円  
収支差引額 4億6,294万 68円
- 2 資本的収支の決算状況（税込み）  
収入決算額 4億7,213万9,775円  
支出決算額 14億5,072万 665円  
収支差引額 △9億7,858万 890円  
収入不足分は、損益勘定留保資金等で補っている。
- 3 主に田野地区などの污水管渠の整備を行った結果、27年度末の下水道普及率は前年度から0.1ポイント上昇し、96.3%となった。污水管渠整備では、総延長572.7km、処理区域面積は、2,603haとなった。
- 4 下水道使用料の収納率は、現年度分97.3%で前年度比0.1ポイント上昇、過年度分68.5%で前年度比10.4ポイント上昇した。
- 5 26年度の会計制度改正に伴い、事業費総額のうち、その他特別損失が大きく減少した。
- 6 処理原価を使用料で賄えていない状況であるが、下水道の接続率が向上したことで年々改善しており、今後接続が進めば逆転する見込みである。
- 7 浸入水防止対策については、計画的に実施しているが、市の単独事業としては財政的に厳しいため、国の補助金等の予算措置を取りながら進めていく予定である。

**【審査結果】**

委員会は賛成多数で認定した。

**第 90 号議案** 平成 28 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計  
補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 2 2 4 万 9 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 8 6 0 万 3 千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

27 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第 91 号議案** 平成 28 年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ 3 億 7, 7 8 4 万 6 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 1 2 2 億 6, 1 4 3 万円とする。直営診療施設勘定は、前年度の繰越金確定に伴い繰越金を増額し、一般会計からの繰入金を同額減額する。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定の補正の主な内容は、27 年度決算額の確定に伴うもの、職員の人事異動に伴うもの、30 年度の国民健康保険事業の県単位化に向けた納付金算定システムデータ連携改修に関するものである。
- 2 27 年度決算額の確定に伴い、約 3 億 7, 0 0 0 万円を 28 年度に繰り越すが、その内の約 5, 0 0 0 万円を過年度返還金として国・支払基金等に返還し、残金を宗像市国民健康保険給付費支払基金に積み立てる。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第 92 号議案** 平成 28 年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 1, 2 9 0 万 8 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 1 4 億 8, 9 5 5 万 4 千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

歳入で、27 年度決算額の確定に伴い繰越金を増額、決算額の確定と職員の人事異動に伴う職員人件費の増額により、一般会計からの事務費繰入金を減額する。歳出で、後期高齢者医療広域連合納付金、職員の人事異動に伴う職員人件費を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第 93 号議案** 平成 28 年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について

保険事業勘定は、歳入歳出それぞれ 1 億 8, 2 1 5 万 8 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 7 6 億 1, 2 7 2 万 1 千円とする。介護サービス事業勘定は、歳入歳出それぞれ 1 5 4 万 1 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 4, 8 2 5 万 2 千円とする。また、保険事業勘定の債務負担行為の追加及び変更を行う。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 保険事業勘定の補正の主な内容は、職員の人事異動と人件費の組み換えに伴うもの、一般会計で実施していた通所事業の移行に伴うもの、配食サービスの委託料の減額に伴うもの、27年度決算額の確定に伴うものである。
- 2 30年度からの次期介護保険事業計画策定に向けた実態調査等を委託するため、債務負担行為を追加する。また、当初予算に計上していた地域包括支援センター1カ所分の委託費に加え、29年度にさらに2カ所を委託するため債務負担行為額を増額変更する。
- 3 介護サービス事業勘定は、27年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を、歳出で予備費を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第94号議案 平成28年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ116万4千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ8億6,755万5千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。  
歳出の減額は主に、船員の昇格や退職、事務職員の人事異動に伴うもので、歳入で一般会計繰入金と同額減額する。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第95号議案 平成28年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ51万8千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ4億1,190万円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。  
27年度決算額の確定、職員の人事異動等に伴い、歳入歳出予算の補正を行う。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第96号議案 平成28年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について

収益的収入及び支出において、収入を313万3千円減額し、収入総額を28億7,986万6千円に、支出を530万7千円減額し、支出総額を25億7,667万9千円とする。資本的収入及び支出において、支出を420万2千円増額し、支出総額を15億3,883万4千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。  
27年度決算額の確定、職員の人事異動等に伴い、収入支出予算の補正を行う。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。